

未来プロジェクトのアップデート

桜だより

令和3年
9月29日(水)

向学 友愛 英気
赤磐市立 桜が丘中学校 校長 村松 敦

086(955)3211

8月から9月にかけて全国的に災害級の感染状況となった影響か、本人や家族に発熱や風邪症状があるなどの場合に休んでも欠席ではなく出席停止とする「登校届」の申請が急増した。ご家族の不安を物語っていると考えられるが、ようやく最近になって落ち着いてきた。楽しみにしていた行事が中止になったが、10月はオンライン学習や再チャレンジテストなど新たな取り組みを通して明るく幸せな未来を切り拓く。先の見通しを持ちにくい日が続くが、生徒は自主的に学習するように、着実に学力を向上させている。未来プロジェクトはアップデートを続ける。

不安と闘った9月

2学期は、県内に緊急事態宣言が発令された最新のスタートとなった。8月18日には県内の新規感染者数が300人を超え、全国規模で「災害級」の感染状況となった。「この状況で登校させて大丈夫だろうか」「学校で感染したらどうしよう」といった不安がご家庭にあつたのではないかと。そうした不安がご家庭に和らげるため、8月27日(金)は分散登校、30日(月)・31日(火)は5・6校時カット、9月10日(金)まで部活動停止と、在校時間を少しずつ長くすることとした。

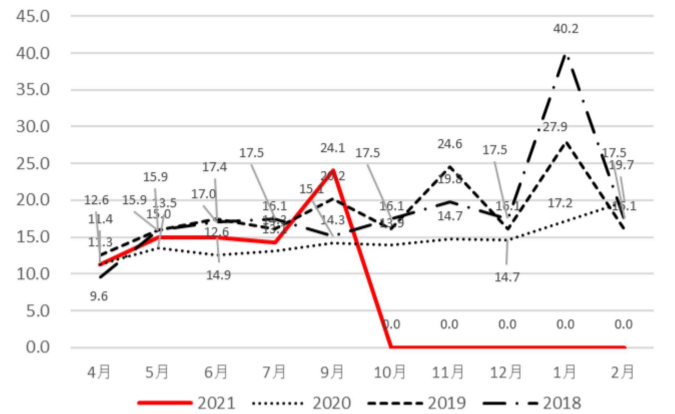
未来を切り拓く新たな取り組み

桜中は、「未来が見える学校」プロジェクト(略称:未来プロジェクト)を標榜する学校だ。自分たちの明るく幸せな未来は、自分たちで創る。先行き不透明で厳しい現実を変えることは難しくても、自分の意識・考え方を更新(アップデート)することで、明るく幸せな未来を信じて生きることが出来る。

まず、一番上のグラフ「年度別1日あたりの欠席者数」を見ると、今年度2021の9月は1日あたり24.1人となっており、昨年度2020の14.3人を10人ほど上回っている。次に、二番目のグラフ「2学期当初の欠席と出席停止等」を見ると、8月30日(月)から9月27日(月)の欠席は昨年度2020の折れ線とほぼ同じで、出席停止が全体を押し上げたことが分かる。出席停止の理由は家族の風邪症状等やワクチン

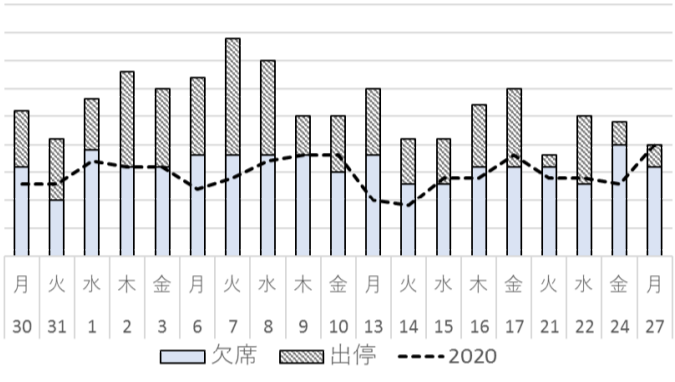
接種が多く、昨年4月にこの制度を始めて以来、一月あたりの届出数は最高を記録してきた。ようやく出席停止の届出数も落ち着いてきたところだが、ご家族のご心配をお察しする。

年度別1日あたりの欠席者数(出停を含む)



9月27日(月)現在の状況

2学期当初の欠席と出席停止等



自立した学習が成果を上げる

このたび2年ぶりに実施の全国学力・学習状況調査の結果が返ってきた。右下グラフ「中3生の3年間の偏差値推移」(上がR1、下

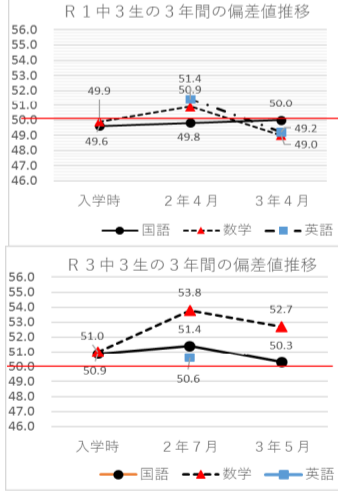
に予定の土曜授業に替えて、希望する生徒にタブレットを持ち帰らせ、オンラインで朝の会や授業に挑戦する。無線LAN環境を整わない家庭は、登校して学校の無線LANでオンライン授業を受ける。いつもの授業ではなく、インターネット上でのプリントの配付・提出などの活用を研究中。新しい学習システムの可能性を感じるかもしれないし、生きた交流のある従来の授業の良さを再認識するかもしれない。ぜひご家庭でも一緒に体験していただき、意見感想をお寄せいただきたい。また、各家庭のミニミニへのアクセスにご協力をお願いしたい。

次に、地域学習とキャリア学習。国連の提唱するSDG&持続可能な開発目標をフィルターに地域の課題を探究するユニット、自分の個性や夢を生かす生き方を探究するユニットの2系列の総合学習を本格始動する。今後、市役所や高校などから多様なゲストティーチャーを招き、自分たちで明るく幸せな未来を描いていく。

さて、「桜中クールビズ」は10月1日(金)で終了するが、10月15日(金)桜華祭体育の部まで体操服での生活は許可する。主に換気しにくい室内での着替えを避け、併せて時間を有効活用するため。同じ体操服の生活でも、桜中クールビズはエアコンの冷気に対する体感温度が異なることや熱中症対策から自分に合った服装を選ぶことができるようになるルールなので意味合いが違う。近頃、長袖体操服を見かけるようになった。「体操服は楽だから」と本来の目的を自分勝手な解釈で利用していないか。オンライン登校や地域学習など新たな取り組みも大切だが、今までの取り組みも大切にしてほしい。未来プロジェクトの取り組みは「自分の頭で考える」自立した生徒を育てるため。先に述べた

「R1」から始まっているが、3年生は制服で臨んだ。体操服での生活は桜中のローカルルール。外部から見ると、なぜ体操服で授業を受けているのか分からない。「ご家族にもドレスコードを間違えてヒヤヒヤした経験が一度や二度はあるだろう。将来、TPOに応じた身なりが信頼を得るために如何に大切か、ご家庭で話題にしてみてください。また、休んだ後に登校し始めた日に提出するルールの「登校届け」が、何日も経ってから出てくることがある。感染症対策で勇気を出して休むことができるようにするルールを、ご家族にも十分理解して利用していただきたい。

本校には、一度やった単元テストにもう一度挑戦できる「再チャレンジテスト」があるが、9月3日(金)に実施した第1回の受験者は、全校の1割に満たない50名足らずだったのは残念。挑戦できるのは1教科。そのテストの自主勉強を提出する条件がある上、結果は上がったが、下がった者もいた。「悔しいから挽回したい」「楽しいからもうやりたい」など、生徒自身が決心して申し込めば、本気で勉強するだろう。原則として問題は変わらないので、答えを丸暗記してきても構わない。要領よく一時的に点数を上げて、本物の実力を身につけていない者に、明るい未来が訪れるほど世の中は甘くない。民法改正によって来年4月から満18歳が成人となる。携帯電話の購入やアパートの賃貸、ローンなど親の同意なく契約ができるようになる。彼らには、自分の頭で考えて行動する力を身に付けさせねばならない。



がR3の3年生のとおり、R1に比べてR3のグラフ全体の位置が高い。偏差値は50が平均なので、平均点付近を前後していたR1に比べると、R3は2年時に国語で1.6ポイント、数学で2.4ポイント、3年時に国語で0.3ポイント、数学で3.7ポイントそれぞれ高く、一度も平均を下回る事がなかった。(昨年よりやや下がったのは悔しいが...) また、右下グラフ(塾や家庭教師の時間を除き1日あたり)1時間以上勉強している生徒の割合(上が平日、下が休日)を見てほしい。昨年から今年にかけて県全体は減少傾向だが、本校は増加傾向で、1日あたり1時間以上勉強する生徒の割合は、平日で73.6%、休日84.8%。2時間以上だと平日45%、休日62.9%で県を大きく上回る。「ご家庭の実態と比べてどうだろう。」

本校の未来プロジェクト(テスト・宿題改革では、宿題は全員同じではなく、自分に必要な内容を選ぶことができる。他校のような定期考査はなく、単元テストに(部活を停止する)テスト週間もない。つまり、限られた時間をどのように使うか自分で考えなければならぬ。自分に必要と思う内容を自主的に勉強した結果が、ここに表れた勉強時間。自分に必要な勉強をした結果、生徒の半数は2時間以上、7/8割は1時間以上となったと言っている。

本校には、一度やった単元テストにもう一度挑戦できる「再チャレンジテスト」があるが、9月3日(金)に実施した第1回の受験者は、全校の1割に満たない50名足らずだったのは残念。挑戦できるのは1教科。そのテストの自主勉強を提出する条件がある上、結果は上がったが、下がった者もいた。「悔しいから挽回したい」「楽しいからもうやりたい」など、生徒自身が決心して申し込めば、本気で勉強するだろう。原則として問題は変わらないので、答えを丸暗記してきても構わない。要領よく一時的に点数を上げて、本物の実力を身につけていない者に、明るい未来が訪れるほど世の中は甘くない。民法改正によって来年4月から満18歳が成人となる。携帯電話の購入やアパートの賃貸、ローンなど親の同意なく契約ができるようになる。彼らには、自分の頭で考えて行動する力を身に付けさせねばならない。

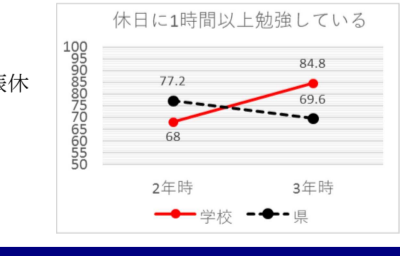
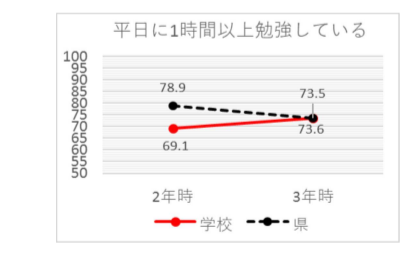
主な秋季総体の結果

送迎をお願いしておきながら、無観客というご無理を強いて、大変申し訳なく思っています。昨年に比べて優勝の数こそ減りましたが、ご家族のお支えのお陰で、今秋は昨年以上に多くの生徒が県大会に出場することができました。

- 【備前地区秋季総体】
- (野球) 3位
 - (サッカー) 初戦敗退
 - (テニス男) 団体3位 (県大会進出) 個人3位 (県大会進出) 個人1組 (県大会出場権獲得)
 - (テニス女) 団体3位 (県大会進出) 個人1位 (県大会進出)
 - (卓球) 男子団体2位 (県大会進出) 男子個人3位5名 (県大会進出) 女子個人2名 (県大会進出)
 - (バレー) 優勝 (県大会進出)
 - (バスケット) 男子2位(県大会進出) 女子 ベスト8
 - (柔道) 地区大会中止・内規により団体・個人全員県大会進出
 - (剣道) 男子・女子団体2位(県大会進出) 個人5名(県大会進出)
 - (バドミントン) 男子・女子団体2位(県大会進出) 男子:単3位1名 複3位1組(県大会進出) 女子:単1位1名 5位1名 6位1名(県大会進出) 複3位1組 4位1組 ベスト8 1組(県大会進出)
 - (陸上競技) 1位 2年女子100M・2位 砲丸 1名(県大会進出) 6位 1年男子100M・200M 1名(県大会進出)

2学期の主な行事

- (テスト関係)
- 9月27日(月)~30日(木)第3回単元テスト
 - 10月18日(月)第2回再チャレンジテスト
 - 11月15日(月)~19日(金)第4回単元テスト
 - 12月6日(月)第3回再チャレンジテスト
 - 11月26日(金)~30日(火)まとめテスト
 - 10月1日(金)・11月1日(月)・12月2日(木)3年学力診断テスト
- (その他)
- 10月15日(金)桜華祭体育の部
 - 10月23日(土)オンライン登校日
 - 11月6日(土)~8日(月)県秋季総体 *8日(月)は11月13日(土)の振休
 - 11月10日(水)進路説明会
 - 11月13日(土)開校40周年記念行事
 - 11月18日(木)~22日(月)3年希望懇談
 - 12月17日(金)~23日(木)個別懇談



部活動の段階的な制限解除

- 対外試合
 - 10月8日(金)まで、校内のみの活動
 - 10月15日(金)まで、備前東地区内に限って許可
 - 10月15日(金)以降、県内の感染状況を見極めた上で、活動地域の拡充を検討
- その他
 - 休日は3時間以内で、昼食をはさまないことなど、その他の制限は継続